

scodt cloud 運用ガイド ver1.1

一般社団法人 PL 対策推進協議会

2023年1月17日

- scodt cloud のご利用に際しては、下記の運用ルールを順守してください。
 - このマニュアルは必要に応じて適時改定を行いますので、ご利用に際しては常に内容をご理解いただき、正しい運用にご協力ください。
 - 適時ご担当者のzoom 研修などを行いますのでご利用ください。
- ① 登録に際し日本語は全角、英数は半角で記号は使用できません。また無駄な余白スペースなどは検索などに影響を与えるのでご注意ください。
 - ② 当該システムでは、長期にわたり安定した利用環境を維持するために、流通情報の世界標準化機関 GS1 のルールを採用しています。その利用上の制限などは GS1 のルールに従っています。ただし、GS1QR の具体的な B2C 運用は他に例が無いので、今後変更などが判明した場合、速やかにご対応ください。
 - ③ 製品のリスク管理のために、当協議会の規定するリスクコードを製品分類に利用しています。リコールや事故発生時の対応にも影響する事ですので、特にリスクの高い製品の場合は正しく選択してください。
 - ④ 登録時には製品のロット予定数を、ロット単位の生産数が確定した場合は修正してデータ保管を行って頂きます。これは万ーリコールなどの際の回収・廃棄率の母数として、より正確な費用見積もりや PL 保険やリコール保険対応などに利用できます。
 - ⑤ 製品を特定するコードは GTIN13(生産国のコードを利用する場合はその国の GTIN) を利用し GS1QR の規定に従い、先頭に 0 を追加し 14 桁表示とします。
 - ⑥ ロット管理コードを GTIN の次に AI (ISO で規定されている拡張子) として連結し、企業内の任意のコード体系を利用できます。これにより同じ GTIN でも生産場所の異なるものなどの情報を組み込むことができます。
 - このシステムではロットコードとして(10)を利用します。大型機械などは製品個体ごとのコードで利用できます。
 - 桁数と GLN などのチェックデジット(数列最後の1桁の数字)は正確に利用してください。不備があると QR シンボル生成時に不具合となります。
 - 具体的には登録年月などの6桁表示の後に14桁(合計英数で20桁)にて例えば農産物であれば圃場コード、製造工場を特定する GLN (GTIN 発行に際し流通システム開発センターより発行されています)を利用することで高度なグローバル標準化に対応できます。

- 食品や金属、樹脂などのトレーサビリティについては、この製品に B2B2C で共有できる GS1QRscdt のコードを先頭にし、社内システムにてそれぞれのサプライヤーからの固有コードを利用してください。GS1QR ではこの原材料管理用の標準化を示しています。
- ⑦ 寿命の設定については、設計寿命（設計上決められた寿命で、食品などは消費期限）、また設計寿命では流通在庫、材料などの許容誤差を組み入れた寿命期間を期待寿命（食品などでは賞味期限）とし、設計寿命の80%程度（社内規定などによります）として登録します。このシステムでは現在、登録時の期日が到来するとシステムから機械的に WARNING 到来を管理画面に表示し、管理者の責任で表示切り替えが行われます。今後運用状況を見て自動切り替えにする予定です。なお、通常設計寿命到来後は使用できないので、運用上は「間もなく寿命時期が来るという伝え方で期待寿命、実際に使用できなくなる時を設計寿命」として利用されています。
 - ⑧ 取扱説明書など、誤使用との関連の深い情報については当面 PDF とし特に新製品情報保護と模倣対策としプレビューとし、ダウンロードはできないようにしております。
 - ⑨ 複数の説明書、例えば設置方法、使用方法などの分冊化された物では当面、使用者側に重要な内容のものを先頭にし、それに PDF ページ連結してください。
 - ⑩ 今後 AI の利用などが進む中で、安全に関わるコンテンツのシステム上での自動翻訳では、誤翻訳に起因したクレームや事故が生じた場合の責任などについての検証がされていないことであり、現時点では当システムでは行いません。
 - ⑪ 以上などにより、取扱説明書などの多言語対応はシステムを利用される事業者にて英語翻訳を行ない、PDF データとして利用していただきます。
 - ⑫ 証明書などの表示については、試験データも含め、第三者機関での製品に関わる証明書などが多数ある場合は、PDF でページ連結して利用します。
 - ⑬ プッシュ通知の乱用により当協議会や当該システム利用者、モバイルユーザーなどからのクレームなどが生じた場合は当協議会より通知による事実の確認と改善をお願いします。その後、改善などがされず、クレームやシステムの信頼性を毀損することが予想される場合はシステムの利用制限、利用の中止を行います。
 - ⑭ GS1QR のコードを2次元シンボルの GS1QR に生成するには、生成条件などの最新の情報を組み込まれた Adobe Illustrator プラグインソフトウェア フラッシュバックジャパン社のものを推奨しています。なお、生成する環境のない場合は当社にて作業環境の確認された委託先を紹介いたします。これらについては限定をしているわけではありませので、システム利用者側の責任でソフトウェア選択や対応システムの構築をお願いします。

- ⑮ 印刷などにて GS1QR シンボルを表示する際は、上記ソフトでの生成寸法を縮小することはできません。また、生成されたシンボルを画像にて使用することは原則禁止ですが、解像度 150dpi 以上で動作確認を行い自社責任で利用ください。
- ⑯ シンボル表示に際して、シンボル周囲は生成時の背景色白を基本的に維持します。その下に平文字（フォント指定はありません）にてアプリ名称 GS1QR scodt®を表示します。フォントサイズは指定しませんが認識できるサイズとして 6point 以上を推奨します。右はその利用イメージです。
- ⑰ シンボルの耐久性は、基本的に製品寿命と同一、特に長期使用製品はそれ以上を目安にしてください。



GS1QR
scodt®

ガッティ家のオーガニック
エクストラバージンオリーブオイル

どんな農業も肥料も使用せず、土壌の持つ力だけで育ったオリーブ（カローレア種）のみを使用。収穫後速やかに低温で搾油いたします。



GS1QR
scodt®

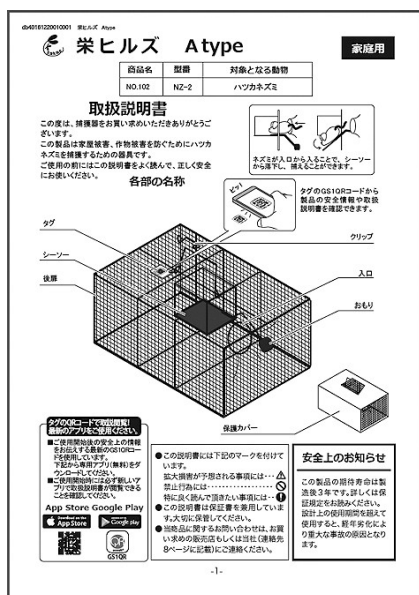
名称：有機食用オリーブ油
原材料名：有機食用オリーブ油
内容量：228g (250ml)
賞味期限：2021.12
保存方法：直射日光、高温多湿を避け冷蔵所に保存してください
原産国名：イタリア
輸入者：ジョアンインターナショナル
東京都北区志茂5-16-15
<http://www.joan-i.com/>



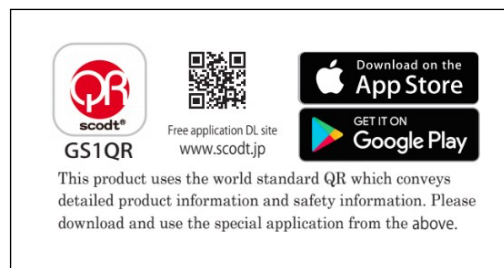
4 571296 830054

例えば透明シールの裏印刷、表面を透明の耐久性の高いフィルムでカバーし擦過損を防止することやセラミック（陶）製などの耐久性の高い素材や印刷・レーザーマーキングなどがあります。いずれの場合も背景とシンボル（黒）との反射率 80%以上を維持してください。コントラストの計測試験機関などについては、一般財団法人流通システム開発センターなどにお問い合わせください。

- ⑱ シンボルの表示場所などについて
- このシンボルはいつでも製品使用者が見やすい場所に表示することが大切です。住宅設備などでは側面や屋外装置だけの表示では設置後に確認できなくなることを想定した表示が重要です。機器本体が屋外に設置されても、例えばリモコンや設置場所の見やすい場所にラベルなどで表示すること、そして表示する際には、使用者登録や取扱説明書、安全情報を伝えるために、アプリを使用していただき、一度は取扱説明書などが閲覧できることを伝え確認する必要があります。
- 特に販売店でも店員がそれらのことを伝えることがこのシステムの利用効果と深く関わります。
- ⑲ アプリインストール情報について、専用アプリ（GS1QR scodt）をインストールしていただくための案内は、取扱説明書の表紙、ホームページ、本体での表示や同梱物などでユーザーに伝えることが大切です。当協議会にてテンプレートを用意していますのでお申し出ください。



取扱説明書での表示



多言語の案内など

コード利用方法の参考：

GS1QR のコード体系を使用することで、多くのメリットが生まれます。

GTIN は製品出荷後（流通小売）において、唯一世界でのユニークコードとして利用できるコード体系です。これを利用してより長期的にも精度の高い製品管理が可能になります。特に、製品の不具合、寿命到来などは製品によりかなり長期になります。リコールは製品寿命を過ぎても発生します。

下記に利用例などを示しますので、これらを参考に自社の業務効率化、長期の製品情報の管理、POS などへの利用などが考えられています。

【流通小売事業者の利用】

PB 商品、取扱製品

- (01) GTIN14(10)英数 20 桁(8200)URL←自社の専用アプリの場合は変更
- 自社 GTIN+年月と製造者 GTIN or GLN
- 製造者 GTIN+年月と自社 GLN もしくは社内コード

【ハウジングメーカーの利用】

PB 商品、取扱製品

(01)GTIN14(10)英数 20 桁(8200)URL←自社の専用アプリの場合は変更
自社 GTIN+年月と製造者 GTIN or GLN、製品製造番号
製造者 GTIN+年月と自社 GLN もしくは社内コード（製造番号・管理番号など）

【長期使用製品安全点検制度関連事業者の利用】

PB 商品、自社製品

(01)GTIN14(10)英数 20 桁(8200)URL←自社の専用アプリの場合は変更
自社 GTIN+年月と製造番号

- ※ システムご利用に際しては、賛助会員に送付される「ご利用ガイド」にて詳細説明をしております。効果的なご利用のための会員専用のシステム説明会なども zoom で開催していますので、PLnews などで確認ください。
- ※ 当該システムは開発者で特許所有者、開発会社のノウハウを利用しております。自社での社内システムなどにて利用したい場合は、当協議会にて開発者とお取次、ご相談の窓口を行いますので、事務局までご連絡ください。
- ※ インストアコードでの利用も可能ですのでご相談ください。

以上

2023. 1. 17